

べ、米人技師の勸告、各國の文献等を比較検討の上吾國に最適と思われる平爐の標準寸法原案を作製し、數次の會議に於て慎重審議の結果、第 11 回會議で固定式 30t, 40t, 50t, 60t, 80t 及び 100t 重油專燒平爐の標準寸法を決定し、第 12 回會議で固定式 40t, 50t, 60t 及び

80t 發生爐ガス平爐の標準寸法を決定した。その詳細は別に本誌に掲載する。

#### 文 献

1) 鐵と鋼, 第 35 年第 1 號 (昭 24・1) 9 頁

2) 學振 19 委 1936 (昭 24・9)

## 研究部會記事

**第 12 回製鋼部會** 日時: 25—8—8 (火) 會場: 日本鐵鋼連盟會議室。出席者: 委員長吉川晴十君外委員及委員代理、臨時出席者等 40 名。議事概要: (1) 議事に先たち日本鐵鋼協會副會長富山英太郎君の「米國製鋼技術に就て」の講演があり之れに對する質疑應答を行ひ一同啓發せらるゝところ尠くなかつた。(2) 次ぎの各項目に付提出資料により夫々該提出委員の説明があつた。(a) 平爐の構造に關する研究に於て、「發生爐瓦斯平爐標準寸法試案」(新扶桑金屬)。「第 12 回製鋼部會提出資料 (川崎葦合)。「平爐蓄熱室ギッター積に於ける煙突積と格子積との比較に就て」(中山製鋼)。(b) 鹼基性平爐による優良低炭素鋼製造に關する研究に於て管材用については「優良なる低炭素鋼の製造法」(日本鋼管川崎)の説明がありシートバーについては製鐵成績調査表の様式を薄板製造 17 社に送附して調査記入方を依頼することとした。(c) 發生爐操業の改善による燃料の合理的使用法の研究に於ては、「發生爐ガス發熱量計算要領に對する檢討」(八幡)が説明せられた。

**鐵鋼二次製品部會第 7 回磨帶鋼分科會** 日時: 25—8—12 (土) 會場: 高砂鐵工株式會社大島工場。出席者: 委員長松永陽之助君外委員、委員代理等 24 名。議事概要: 提出資料 (1) 壓延工程に於ける磨帶鋼厚みむらの統計的研究 (日金産王子) は大川委員。(2) インヒビターについて (日金産王子) は福田氏。(3) 磨帶鋼分科會資料—肌不良の問題及壓延潤滑材— (三機工業川崎) は山口委員が夫々説明した。其の他松永委員長は光輝燒鈍ポットにマグネシウムを添加し酸化を防止する方法を提唱した。

**鋼材部會第 8 回線材分科會** 日時: 25—8—28 (月)。會場: 富士製鐵輪西製鐵所。出席者: 主査委員代鈴木茂君外委員及委員代理、臨時出席者第 22 名。議事概要: 提出資料 (1) 工場作業実績表。(2) 運轉休止時間内譯表。(3) 加熱爐操業実績表、加熱爐熱精算。(4) 原單位調査表。(5) 線材の直徑及偏差頻度曲線 (以上各社)。(6) 線材工場鋼片壓延成績表 (小倉製鋼)。(7) ローラーベアリング成績表 (輪西製鐵) 以上夫々説明の後質疑應答が行はれた。

**鋼材部會第 7 回中小形分科會** 日時: 25—8—29 (火) 會場: 富士製鐵輪西製鐵所。出席者: 主査委員森山達郎君外委員及委員代理等 22 名。議事概要: 下記議題について順次討議が行はれた。(1) 調査事項、(イ) 製品歩留調査。(ロ) 作業時間分析。(2) 銑材壓延に關する檢討。(3) 壓延機動力傳導に關する研究。(4) 工具に關する檢討。(5) 其の他の研究事項。

**特殊鋼部會第 2 回第 3 小委員會** 日時: 25—8—26。會場: 協會々議室。出席者: 主査委員小平俊雄君外各委員及委員代理等 18 名。議事概要: 日本特殊鋼、新大同製鋼、東京鋼材、東洋鋼板等各特殊鋼會社提出の材質管理に關する資料により特殊鋼製造用主原料の現状と不純物の影響及その對策等について夫々説明があり、普通鋼各社の經濟的に見た適正銑鐵配合率の發表があつた。また新扶桑金屬から、各社主要製品に對する考察として鋼材中の不純物に關する參考資料が提出せられた。

**熱經濟技術部會第 9 回加熱爐專門委員會** 日時: 25—9—6。會場: 協會々議室。出席者: 委員設樂正雄君外各委員、委員代理及臨時出席者等 28 名。議事概要: 設樂委員 (後に阪本委員代る) の司會により熱經濟技術部會加熱爐專門委員會關東小委員會 (日本鋼管・鶴見、日本鋼管・川崎、富士製鐵・川崎、日本特殊鋼、東都製鋼、新理研工業、八幡本社、東京鋼材) に於てまとめた「8 連連續塊塊加熱爐設計」に關して仕様に基く加熱帶、加熱爐床幅の各決定、爐熱効率の推定の燃料の使用量及び燃焼裝置、爐線等の各要項について討議が行はれた。

**熱經濟技術部會第 8 回熱精算專門委員會** 日時: 25—9—7。會場: 協會々議室。出席者: 委員長田中清治君外委員及委員代理等 21 名。議事概要: 田中委員長より八幡製鐵所管理部熱管理課提出の「熱精算方式改訂案」につき檢討ありたき旨の挨拶あり、同案第 1 節加熱爐の熱精算に關し、入熱、出熱、鋼材適當熱精算結果、熱効率、計算要領等につき各委員間に討議せられて概ね原案を確認した。尙電氣爐熱精算について池田委員の説明があり新大同製鋼の資料提出があつた。